

都市・地域研究

Undergraduate Minor in Urban and Regional Studies

都市・地域の環境・社会・経済・文化を読み解き、未来をデザインする

設置の趣旨・概要

都市とは、経済・社会の中心地であり、文化・文明・技術の牽引装置です。世界的な規模で押し寄せる「都市化」の波。都市化とは、都市人口が増加し、農村の過疎化が進むという意味と、都市的な生活様式が都心・郊外・農村に限らず社会全体に浸透するという意味の二つがあります。都市化は先進諸国における少子高齢化現象、文化的問題、途上国における人口増加、環境問題など、新たな課題の多くを生み出し、地球社会全体に大きな影響を与えています。世界の都市・地域で、これらの課題を乗り越えるために、次世代型の都市の「しくみ」と「かたち」につくり替えようというスケールの大きな挑戦です。ケーススタディをもとに、このような課題に対する認識を深め、グローバルな問題解決を目指した問題発見、課題探求、計画提案の方法を学ぶことが、都市・地域研究のテーマです。都市・地域の現状分析にとどまらず、政策や計画のデザインまで具体的に学びます。

履修モデル

本副専攻は、以下2つの今日世界的に重要な課題へ取り組むためのプログラムに重点を置いています。

1. 持続可能な環境開発論

持続可能性とは、有限な地球の資源や豊かさを、人間と他の生物が相互の尊重・承認のもとに同時代の社会集団の間で公平に分配しつつ、さらに多様性を維持しながら次世代に継承していくことを意味します。地形や気候などの自然地理、政治・経済などの人間社会、建築や土木などの人工環境の関係を踏まえ、その関係について、歴史・風土、文化をふまえたサステイナブルな都市・地域・コミュニティの計画、デザイン、マネジメントを学びます。

2. 成熟社会の地域マネジメント論

成熟社会とは、基本的な生存ニーズの充足から開放された市民が、多様な価値観の尊重のもと、個々人の生きがいや自己実現を支援しあう社会です。消費、行動、仕事、居住地、ライフスタイルなどの自己選択可能な社会が求められます。都市・地域の潜在力の発揮、独自性や個性の形成、対話による社会の政策及びデザイン、環境管理、安定性・リスク回避などを学びます。

実習やフィールドワークのバランスを図ります。修了演習科目では、コア科目を受講した教員の中から一人を選び、指導を受け論文を提出します。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	<ul style="list-style-type: none"> ●都市・地域を<空間>として捉える見方を習得する。 ●自然環境、人工環境、社会環境（社会、経済、文化等）の関係を読み解く。 ●現状分析した上、<未来をデザインする>ための基礎的な知識とスキルを習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●勉学的な展望 都市計画、公共政策、社会学、地理学、地域研究などの専門あるいは複合分野へ ●進路等の展望 都市・地域計画プランナー、政策プランナー、市民参加コーディネーターとして、まちづくり関連のコンサルタント、公務員、民間会社、NPO等へ

学生へのメッセージ

都市・地域研究は、確立された一つの専門的な学術分野で、海外では専門の学部や大学院も多く存在しますが、日本ではまだ多くありません。早稲田の都市・地域研究の科目や教員は、各学部、大学院などに目下存在していますが、その垣根を越えて総合的に連携する体制を構築しています。都市・地域研究は、伝統ある分野であると同時に、時代や社会の変化に応える視点が重要です。将来重要性を増す社会現象や学問的課題を見つけながら、既存の学問体系にとらわれずに新たな知的考察を加えていくマインドや学習態度が求められます。それだけにやりがいのある分野ですので、チャレンジしてください。

指定科目一覧

※備考欄の記載事項

追加…2018年度より、指定科目として追加になった科目です。

取下げ…指定科目となっていたが、2018年度から取下げとなった科目です。2017年度まで単位を修得していた場合には、修了単位として認定されます。

修了必要単位

16単位 コア科目：4単位、選択科目：12単位) 以上

★コア科目

修了必要単位：4単位

項	設置学部・センター	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	選修曲	備考
1	GEC	全学共通副専攻修了演習 都市・地域研究) 01	早田 幸 他	1年以上	春学期	無その他	早稲田	2	○	
	GEC	全学共通副専攻修了演習 都市・地域研究) 02	早田 幸 他	1年以上	秋学期	無その他	早稲田	2	○	
2	GEC	現代都市・地域論	早田 幸 他	1年以上	夏クォーター	金5-6	早稲田	2		
3	GEC	都市・地域概論		1年以上			早稲田	2		2018年度休講
4	GEC	都市環境の法と政策		1年以上			早稲田	2		2018年度休講
5	GEC	都市再生を考える		1年以上			早稲田	4		2018年度休講
—	GEC	産業構造の変化と地域の計画						2		廃止、取下げ
—	GEC	身近な地区の計画構想づくり						2		廃止、取下げ
—	GEC	JA共済寄附講座 東北復興のまちづくり-農からの地方創生-1						2		廃止、取下げ
—	GEC	JA共済寄附講座 東北復興のまちづくり-農からの地方創生-2						2		廃止、取下げ

注1 コア科目を修了必要単位数以上取得した場合は、選択科目に振替えられます。

★選択科目

修了必要単位：12単位

項	設置学部・センター	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	選修曲	備考
1	教育	社会学研究Ⅱ-2	秋元 健太郎	2年以上	秋学期	金4時限	早稲田	2		
2	教育	現代社会研究6	若林 幹夫 他	2年以上	秋学期	月5時限	早稲田	2		
3	社会学	都市科学概論	早田 幸	1年以上	春学期	水3時限	早稲田	2		
4	社会学	地理情報システム論Ⅰ	大場 亨	1年以上	春学期	土2時限	早稲田	2		
5	社会学	環境法1(公害規制法)	黒川 哲志	3年以上	春学期	水3時限	早稲田	2		
6	社会学	環境法2(自然保護法)	黒川 哲志	3年以上	秋学期	水3時限	早稲田	2		
7	社会学	地理情報システム論Ⅱ	大場 亨	1年以上	秋学期	土2時限	早稲田	2		
8	社会学	コミュニティデザイン	卯月 盛夫	1年以上	春学期	水4時限	早稲田	2		
9	社会学	EU・ドイツの都市づくり	卯月 盛夫	2年以上	秋学期	水5時限	早稲田	2		
10	社会学	公共事業論	卯月 盛夫	2年以上	秋学期	水4時限	早稲田	2		
11	社会学	環境表現論Ⅰ	佐藤 洋一	1年以上	春学期	月3時限	早稲田	2		
12	社会学	環境表現論Ⅱ		2年以上			早稲田	2		2018年度休講
13	社会学	社会言語としての映像		2年以上			早稲田	2		2018年度休講
14	人科	都市社会学	白井 恒夫	1年以上	秋学期	金2時限	所沢	2		
15	文構	地域・都市論研究	浦野 正樹	2年以上	秋学期	火4時限	戸山	2		
16	文構	環境変容と地域・都市の社会変動	浦野 正樹	2年以上	秋学期	火4時限	戸山	2		
17	文構	ローカル・ガバナンス論	高野 孝子	2年以上	秋学期	水2時限	戸山	2		
18	創造	都市計画	有賀 隆 矢口 哲也	2年以上	秋学期	月1時限	西早稲田	2		
19	創造	景観設計	後藤 春彦	3年以上	春学期	月4時限	西早稲田	2		
20	創造	環境工学	榎原 豊	2年以上	秋学期	月4時限	西早稲田	2		
21	創造	空間デザイン	佐々木 葉	1年以上	秋学期	水5時限	西早稲田	2		
22	創造	景観工学	佐々木 葉	2年以上	秋学期	水2時限	西早稲田	2		
23	創造	都市計画	中川 義英	3年以上	春学期	水3時限	西早稲田	2		
24	創造	交通計画	森本 章倫	3年以上	春学期	水2時限	西早稲田	2		
—	教育	社会学研究Ⅱ-1						2		廃止、取下げ
—	社会学	居住環境論2						2		廃止、取下げ
—	社会学	居住環境論1						2		廃止、取下げ

履 全
修 学
共
ガ
通
副
イ
専
ド
攻